



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 キタカワ	代表者	北川 博康	法人・事業所の特徴	『生活の継続性の尊重』、『残存能力の活用』、『自己決定の尊重』の三つの理念を共有し、利用者本位の視点を大切にしたいきめ細やかな支援に努めている。同一建屋内に併設する居宅介護支援事業所やデイサービスセンターとは、合同で納涼祭や敬老会、運動会、餅つき等を開催し、地域の方々との交流を深める場にもなっている。又、隣接する特別養護老人ホームとは行事だけではなく、避難訓練や災害時の避難場所としても協力体制を整えている。 食事面では、栄養士による栄養管理の行き届いたバランスの良い食事を3食共に提供出来るだけではなく、毎月一回のグルメランチでは、ご当地の有名な食べ物が再現され好評を得ている。
事業所名	小規模多機能ホーム あゆ美	管理者	竹中 未喜江		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	1人	1人	1人	1人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の内容を一時的なものとしてとらえるのではなく日頃から常に意識しつつ業務に取り組む。	全ての項目を意識しながら業務に当たることは難しかったが、時々職員間で確認し合ったり、朝夕の申し送り改善計画を話し合ったりした。	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価も大切だが、あまりそれに捕らわれず、ストレスをためないよう業務に当たってほしい。 コロナ禍で書類などいろいろなことが変化し、大変だと思う。 	自己評価の内容や改善計画を日々の業務にどのように活かすか職員それぞれが検討する。検討結果を話し合い、新たな気付きを導き出す。

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>引き続き、屋内にいても季節を感じられるよう行事や食事メニューを工夫する。また、時世を鑑み 消毒や換気に気を付け、清潔で安心できる環境作りを心掛けたい。</p>	<p>今年度は徐々に外出行事を増やした。感染症対策や体調不良時の対策には非常に気を遣ったが、利用者の晴れ晴れとした笑顔に職員も癒された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での外出など、感染症対策に配慮している。 ・外の空気を吸って季節の景色を自分の目で見ることはやはり必要なことだと思う。 	<p>季節感を演出する天井や壁面の飾りつけは今後も継続する。また感染予防対策は居心地の悪さを感じないように工夫しながら継続していきたい。</p>
<p>C. 事業所と地域のか かわり</p>	<p>自分たちのできる範囲で情報発信に努める。</p>	<p>送迎時の挨拶や散歩先の神社での関わりはコロナ禍関係なく行えている。毎月の『あゆ美だより』で積極的な発信を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆ美だよりでは活動内容や職員の熱意がよく伝わってくる。 ・地域との関わりは今のままで充分だと思う。挨拶が何より大切だ。 	<p>できる限り地域行事には参加したい（利用者の大きな望みでもある）。</p>
<p>D. 地域に出向いて本 人の暮らしを支え る取組み</p>	<p>屋内行事を充実させるだけでなく、やはりできる限り外出し、地域との関わりを途切れさせないよう努力する。</p>	<p>市外への遠足など、数年越しに行えた行事もあり、感無量である。散歩も日常的に行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外出は利用者にとってもうれしいことだが、職員さんもいい笑顔で写真に写っている。大変だと思うが外出行事は増やしてほしい。 	<p>感染症対策を怠ることなく外出行事を定期的に開催する。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>最近の運営推進会議は活動や実績の報告の場になりがちなので、地域課題や地域の高齢者についての話題が出るような会議の進行も検討したい。</p>	<p>今年度も少人数での開催が主流となった。地域の高齢者の話題も出たが、会議の場で議論するのではなく情報だけいただき、後日改めてカンファレンスを行う形となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議という形を取らなくても気付いたことがあればすぐに報告や相談はできる。 ・今となっては本来の（推進委員の）人数は多いとも感じてしまう。会議が長引いたはずだ。 	<p>時間短縮で会議の回数を増やしたり、事業所以外の場所（公民館など）で開催したりと会議の在り方を見直し、より地域との関わりが強くなれるよう模索していきたい。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>避難訓練は定期的に行う。曜日や時間帯によって留意すべき点は気付きとして職員間で情報共有しておく。</p>	<p>地震想定や火災、水害想定での避難訓練は行えたが、不審者対策や施設内での感染症クラスター対策などは不十分だと感じている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクが多く、大変だと思う。職員はよく努力している。 ・不審者対策は地域との協働や情報共有も大切である。 	<p>様々な想定での避難訓練を行うとともに、BCP計画の策定が次年度の課題であると考えている。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月14日(13:15 ~ 13:45)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	4人	0人	0人	11人

前回の改善計画	<p>・初期の情報収集と丁寧なアセスメントにより正確なニーズを把握する。様々な方法で職員全員が情報を共有し、支援できる体制を強固にする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・新規利用者には、同じ話題であっても職員が入れ替わり話しかけ、できるだけ関わりを持つよう配慮した。家族には一日の様子を、連絡帳の紙面上だけではなく送迎時に細やかに具体的に伝えた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	2	3	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	6	1	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	10	1	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4	3	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・本人だけではなく家族とも積極的に関わりを持った。 ・職員と利用者1対1ではなく、周りの利用者も巻き込んで話をするよう心掛けた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・利用者によっては積極的な関わりが馴れ馴れしいと感じる方もおられるため、それぞれのパーソナルスペースを知ることが大切だと思った。 ・連絡帳への記載で、本人が『できたこと』を書いてほしいという家族と、『できなかったこと』を書いてほしいという家族があり、家族へも個別対応が必要であると感じた。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・ケアの内容や本人の思い、取り巻く環境などは日々の状況により変化していることもあり、その時々最新の情報を速やかに共有しなければならない(『知らなかった』で済まさない)。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月14日 (13:15 ~ 13:45)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	4人	2人	0人	11人

前回の改善計画	<p>・ケアプランや小規模多機能型居宅介護計画書の目標を意識し、『できないこと』よりも『できたこと』や『できそうなこと』に焦点を絞った関わりをする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・利用者の「～したい」を意識しながらケアに当たることが難しい。その場の対応に追われることが多く、常に利用者の思いに沿っているか考えて動くことができなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	6	3	2	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	2	3	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	4	4	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	4	4	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・発言の多い利用者の要望にはよく応えているが、そうでない利用者には我慢させてしまっていることもあるかもしれない。</p> <p>・利用者の「～したい」が抽象的な思いであっても、具体的な提案をして言い換えるだけで利用者は喜んでくれた。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・ゆっくり傾聴したいが時間がなく、利用者との会話を切り上げてしまったことがある。</p> <p>・コロナ禍の為、安全面を考えてしまった結果実行できないことが何度もあった (外食、祭り見学など)。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>・前回と同様であるが、ケアプランや小規模多機能型居宅介護計画書の目標を意識し、『できないこと』よりも『できたこと』や『できそうなこと』に焦点を絞った関わりをする。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月14日 (13:15 ~ 13:45)

3. 日常生活の支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	4人	0人	0人	11人

前回の改善計画	<p>・連絡事項や新しく得られた情報は職員間で素早く正確に共有する。内容によっては申し送りノートだけでなく日誌や送迎表などにも記載し、職員の目に留まりやすいよう工夫する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・職員間で情報を共有することによりケアのばらつきや「できていること」まで介助しているということが少なくなった。 ・常に『情報共有』と言う意識付けができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄と		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	3	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	11	0	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	6	1	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	11	0	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	1	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・自宅と施設ではやはり生活環境ががらりと変わるので、不便がないか、どうしてほしいかを細やかに聞き取った。 ・コロナ禍でもあるため、体調の変化には特に速やかな対応が取れている。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・認知症が進行した利用者の「以前の暮らし方」を把握するのが難しい。 ・勤務形態が様々なのでどれだけ情報共有しても共有した情報にタイムラグが生じる。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>・日常生活における「～したい」をより具現化するために、日々の関わりで聞き取ったことや気付いたこと(情報)を職員間で共有する。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月31日 (16:15 ~ 16:45)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	2人	4人	3人	11人

前回の改善計画	<p>・コロナ禍で廃止になった社会資源は数多くあるが、コロナ禍だからこそ生まれた社会資源も少なからずあるのではないかと思う。利用者にとってより住み慣れた地域で、より快適に生活してゆくための社会資源を見落としていないか、日々細やかな情報収集を行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・YouTube等配信サービスを活用し、利用者が昔生活していた場所や時代について情報収集できた。利用者とともに鑑賞することで新たな話題作りにもつながった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4	4	1	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	4	2	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	6	1	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	5	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・近隣の方とは送迎時や訪問時に挨拶をするなど必ずコミュニケーションは取るようにしている。 ・徐々に外出行事を行っており、やはり利用者からは好評である。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・どうしても安全面重視になり、計画していた行事を縮小したり中止にしたりした (感染防止のため)。 ・コロナ以前に比べ、地域との関わりが激減した。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・地域の行事やイベントに関する情報収集は引き続き行い、タイミングや状況を見て参加賛同したい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月31日 (16:15 ~ 16:45)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	2人	0人	0人	11人

前回の改善計画	<p>・できる限り柔軟な対応は行うがその要望が利用者の『自立支援』を妨げる場合は断り、対応できない旨を納得していただく説明をする知識も必要である。柔軟な対応・支援を正しく行うため、全職員の介護知識の熟達を目指したい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・今年度はオンライン研修や短時間の研修が多くあり、多くの職員が外部研修に参加できた。介護知識だけに限らず不審者対策やレクリエーション技術の向上にもつながったと感じている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	4	1	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	4	1	1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	2	0	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	2	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・送迎時間や急な変更などできる限り柔軟な対応ができていると思うが、決して利用者や家族の言いなりになることなく、できないことは断っている。</p> <p>・利用者の状態や家族状況に合わせたケアが柔軟に提供できていると思う。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・地域密着型施設としての役割が分かりにくい。</p> <p>・『柔軟な支援』や『個別対応』はどこまでしたらいいのかわからない。特定の利用者だけに特別扱いにならないか懸念している。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・全ての職員が小規模多機能型居宅介護についての知識を深め、必要な時に柔軟な対応がスムーズに行えるようにする。イメージしやすいケアプランや個別計画にできるだけ具体性を持たせる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月31日 (16:15 ~ 16:45)

6. 連携・協働

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	1人	4人	1人	11人

前回の改善計画	<p>・これまで通り他事業所や地域包括支援センターなどとの連携や協働を行う。コロナ禍での経験を活かし時間短縮や ZOOM ツール等の活用も意識する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・他事業所や地域包括支援センターとの連携や協働は問題なく行えている。ZOOM を用いてのミーティングや研修もスムーズに行えるようになってきた。自宅待機中に研修を受けるなどコロナ禍で生まれた慣習をうまく活用している。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	1	6	3	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	5	4	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	1	5	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	7	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・一職員なので電話対応をしたり、来客へ挨拶をしたりする程度である。しかし、丁寧な言葉使いや笑顔を中心掛けるなど自分にできる最善を尽くしたいと考えている。</p> <p>・地域包括支援センター、民生委員、訪問看護師などとの必要な関わりはコロナ禍に関係なく継続している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・来客は減ったが、その分電話相談が増えた。全ての職員が適切な電話応対ができるよう勉強中である。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・今後もオンラインを活用し、連携、協働していきたい。会議等の移動時間が短縮できる分 空いた時間を有効利用するため、より細やかな日常スケジュールを組み立てることを心掛けたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月 5日 (15:15 ~ 15:45)

7. 運営

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	4人	0人	11人

前回の改善計画
・苦情やヒヤリハットの速やかな情報共有、職員間での意見交換、気付きの助言など地道で基本的なことであるがあらためて徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・苦情やヒヤリハットは職員全員で速やかに情報共有し、対応策を話し合うことができている。それをいかに現場のケアに還元できるかが課題であると感じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	5	5	1	0	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	5	1	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1	6	3	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	2	2	6	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・よく散歩に行く神社の掃除を（利用者と一緒に）している。こういった簡単な取り組みでいいと思う。 ・『運営』はよくわからないが、自分ができることを精一杯頑張っている。	

と

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・意見が言いやすい職場であると思うが、それが運営に反映されているのかわからない。 ・『地域と協働する』といったことはコロナ禍に関係なく難しいと感じてしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員一人一人が自分にできることを提案し、実行する。苦情やヒヤリハットの対応と合わせてうまく現場に還元できる体制作りをしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月5日 (15:15 ~ 15:45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	4人	1人	0人	11人

前回の改善計画	<p>・コロナ禍を考慮し、外部研修にこだわらない。内部研修や委員会をより充実させる努力をしたい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・オンライン研修が非常に充実した年度であった。多くの職員が研修に参加できた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6	3	2	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	1	1	11
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	4	5	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	4	3	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・webで研修に参加したりと、研修の内容以外にもいい経験につながった。 ・職員会議、各委員会は例年通り開催されている。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・現場で失敗し、反省した後にリスクマネジメントを意識することはあった。 ・勉強する時間がないため、スキルアップに対し意欲的になれない。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>・来年度もできるだけ外部研修に参加し、職員の意識を高める。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月5日 (15:15 ~ 15:45)

9. 人権・プライバシー

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	2人	0人	0人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 不適切な発言や行動をとってしまった職員にその場で注意し合う、助言する、ということ徹底したい。職員一人一人が自分の言動に責任を持ってケアに当たるという意識付けが大切である。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士の声掛けができている。スピーチロックは緩やかに減少している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	0	0	0	11
②	虐待は行われていない	10	1	0	0	11
③	プライバシーが守られている	8	2	1	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	11	0	0	0	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	0	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードの記載はイニシャル表記している。 できる限り個別対応し、プライバシーを守っている。記録物の保管にも気を付けている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> トイレ誘導時、大きな声で呼んでしまうことがあった。 他利用者のいるホールでイニシャルを使わずに名前前で情報を伝えてしまったことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束や虐待に関しては優先的に研修や勉強会を開き、職員の意識を途切れさせない努力が必要である。職員同士の声掛けや助言がしやすい職場環境をこれからも保ちたい。 	